

2014年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	建築・デザイン学科						
科目名	鉄筋コンクリート構造及び演習						
科目区分	専門科目	単位数	3単位	開講時期	2年時前期		
必修・選択の別	必修科目(建築工学コース)／必修科目(建築コース)／—(デザインコース)						
担当者	奥野 賢二						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリートおよび鉄筋の基本的な応力度計算ができる。 ・想定した応力に対して柱及び梁の断面設計ができる。 						
日程と内容	<p>第1回 4月10日：導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法</p> <p>第2回 4月17日：RC構造の基礎</p> <p>第3回 4月24日：鉄筋コンクリート梁の設計－1</p> <p>第4回 5月1日：鉄筋コンクリート梁の設計－2</p> <p>第5回 5月8日：鉄筋コンクリート梁の設計－3</p> <p>第6回 5月15日：鉄筋コンクリート梁の設計－4</p> <p>第7回 5月22日：鉄筋コンクリート梁の設計－5</p> <p>第8回 5月29日：鉄筋コンクリート柱の設計－1</p> <p>第9回 6月5日：鉄筋コンクリート柱の設計－2</p> <p>第10回 6月12日：鉄筋コンクリート柱の設計－3</p> <p>第11回 6月19日：鉄筋コンクリート柱の設計－4</p> <p>第12回 6月26日：せん断設計－1</p> <p>第13回 7月3日：せん断設計－2</p> <p>第14回 7月10日：せん断設計－3</p> <p>第15回 7月17日：演習まとめ</p> <p>第16回 7月24日：定期試験(90分)</p> <p>注：試験範囲は第1回から第15回までの授業総てとする。</p>						
成績評価基準	定期試験	60%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計				
	演習	40%		100%			
授業到達目標の達成度	柱及び梁の断面設計方法(軸方向力及び曲げ応力が作用する場合)については概ね達成できたと思われる。						
反省点	基礎的な力学に対する理解が不足していると思われるので、部材の設計に必要な材料力学、構造力学に関する説明を行う必要がある。						
来年度の計画	来年度も復習を兼ねて演習問題の解説を行う事が必要であるが、鉄筋の納まり等の施工に関する説明も加えたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	構造は難しいとの意見に対して建築構造設計はこれまでの知識だけでは対応できないので非常に難しく思われがちですが、これを乗り越えるために基礎的な知識を身に付ける必要があります。						
履修登録者数	109名	定期試験 受験者数	86名	合格者数	57名	合格率	66%